

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月12日

計画の名称	大仙市における住宅等セーフティネットの構築（第二期）													
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	大仙市													
計画の目標	市所有特定建築物等の耐震化とげ地近接等危険住宅移転により、安全で安心できる住まいを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		24	A	24	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H31末
1	大仙市における耐震性が確保された市所有特定建築物の割合 市所有特定建築物の耐震化率 耐震性が確保された市所有特定建築物 / 全市所有特定建築物数	98%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大仙市にて実施

事後評価の実施時期

令和2年度

公表の方法

大仙市ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

市所有特定建築物の耐震化促進に向けた環境が整った。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

一部耐震化が未了となっている市所有特定建築物について、耐震改修、建て替えもしくは除却等を行い、令和7年度までに全ての耐震化を目指す。



